

【シラバス】

<p>講座 テーマ</p>	<p>教育の最新事情</p>		<p>担当者</p>	<p>岩橋 法雄 (九州看護福祉大学)</p>
<p>講座の到達目標及びテーマ： これからの教師に求められる資質として、「考える力」の養成について一定の見識を持つ。 「多様な社会」と「多様な子ども」について、一定の見識を持つ。</p>				
<p>講座の概要： Society5.0 という社会に期待されている学力形成と生き方について考え、教師に求められる「考える力」の形成にどのように取り組むかを考えてみたい。 さらに多様性の期待される教育が求められる現状に際して、その多様性とは何か、アクティブ・ラーニングを小手先の手段の道具に堕させないために何を大切にするかを考える。とりわけ特別支援教育に関連して、イギリスの SEN(special education need) やユネスコのサラマンカ宣言に結実したインクルーシブの理念について理解を深める。</p>				
<p>形態</p>	<p>講義が基本。 グルーピングして講義内容に関連した課題での討議と発表を組み合わせる。</p>			
<p>テキスト</p>	<p>関連プリントの配布</p>	<p>試験方法</p>	<p>筆記試験</p>	
<p>評価：筆記試験と、グルーピングしたグループでのディスカッションと発表を合わせて評価</p>				
<p>講座受講希望者への事前連絡： 配布プリントの事前読了（「特別ニーズを持つ子どもの教育と福祉」） あるいは岩橋法雄著『イギリスの教育と福祉研究』（中川書店、2018年10月）第7章第2節「特別ニーズを持つ子どもの教育と福祉」参照。</p>				

【シラバス】

<p>講座 テーマ</p>	<p>困難を抱える子どもの理解と対応</p>		<p>担当者</p>	<p>水間 宗幸 (九州看護福祉大学)</p>
<p>講座の到達目標及びテーマ： 持つ困り感とそれによって生じる「問題行動」を変容させるために必要な行動分析の基礎を学び、同時に子どもたちをアセスメントする分析方法および「子どもをほめて動かす」具体的な支援を、実践的に考える。また貧困に関する最新の調査結果と、発達障害の関連を通し、特別支援教育の今後について検討する。</p>				
<p>講座の概要： 生活困窮者に関する最新の調査結果を踏まえた特別支援教育の今後について、幼児児童生徒への適切な対応の必要性を講義形式で学習する。行動分析を通じた幼児児童生徒のアセスメント方法と行動評価の方法について演習を行う。</p>				
<p>形 態</p>	<p>講義＋演習</p>			
<p>テキスト</p>	<p>当日資料を配布</p>	<p>試験方法</p>	<p>筆記試験</p>	
<p>評価： 修了認定のための筆記試験（100点満点）を、講習時間内に30分程度で実施</p>				
<p>講座受講希望者への事前連絡： 特になし</p>				